



王一だより

令和4年2月号
北区立王子第一小学校
校長 荒木 康子

教育目標 仲良く助け合う子 身体をきたえ元気な子 よく考え最後までやりぬく子 親切で礼儀正しい子

ラストステージ



校長 荒木 康子

2月は、一年の中で寒さが最も厳しい季節です。しかしながら、暦の上では3日に節分、4日には「立春」を迎え、春が始まります。寒い中でも日脚が伸び、春の植物の芽も膨らみ始め、少しずつ春の訪れを感じることができることとなりました。

春の訪れを穏やかな気持ちで迎えたいところですが、感染力の強いオミクロン株の影響で、年明けから急に厳しい状況となっています。本校を含め、区内では学級・学年閉鎖が増え、数校が学校閉鎖となってきました。豆まきをして、コロナウイルスの鬼を追い払い、たくさんの福を招き入れたいと切に願います。

コロナ第6波の到来により、学校でも当初の予定を変更せざるを得ないことがいくつか出てきました。1月の保護者会と書初め展を予定通り行うことも延期することも難しく、保護者の皆様には、ご遠慮いただきました。これからの校外学習も状況では、延期や中止、計画変更を余儀なくされる可能性が大きくなりました。卒業や進級に向けた活動や行事は、最大限できるよう計画を修正していきます。

★1月27日（木）には、北区教育委員会研究指定校としての研究発表会を開催いたしました。とはいえ、外部の参観者をお迎えできず、直前になって、北区内学校関係者限定での「きたコン（配布タブレット）」を活用し、オンライン開催に変更いたしました。

本校では、この3年間、研究主題に「学びに向かう力を身に付ける児童の育成～国語で身に付けた力を活用した授業改善のためのカリキュラム・マネジメントの推進を通して～」を掲げ、研究を進めてきました。東京学芸大学教授の中村和弘先生を講師にお招きし、国語科で身に付けた力を他の教科等の学習につなぎ、活用していくことで、子供たちに主体的で協働的な学びを育てていく指導を進めてきました。

オンライン視聴をされた先生方や参加された教育委員関係者の皆様から、「どの学年の子供たちも意欲的に学習に取り組んでいる姿に、研究の成果が表れていて素晴らしいと感じました。」「画面から、子供たちの一生懸命学習に取り組む姿が見られました。」等と、お褒めのメッセージをいただきました。
※当日の様子は、ぴかいちキッズニュースをご覧ください。

★今年度の登校日は、残り40日を切りました。つまり、今年度の「ラストステージ」の時期となりました。各学年も次の学年に向けて、今できることをしっかりとやり遂げられるよう、学年のまとめをしています。

このラストステージは、1年で最も大切な期間です。今年度の生活や学習を振り返り、成果と課題を明らかにして、新しい学年に向けた準備を進めていきます。特に卒業学年の6年生にとっては、中学校入学に向けての心構えや王子第一小学校でのまとめの活動を通して、多くの力を蓄え、準備をする時期です。課題をひとつでも多く解決できるようにしっかり準備をしてほしいと願います。

私ども教職員も教育活動を振り返り、次年度の計画作成に向けた準備を進めてまいります。